

その他の支援制度

詳細は入試広報室までお問い合わせください。

☎0120-86-6606 受付時間 10:00~18:00
(土・日曜日・祝日を除く)

各種入試日程、入試科目、Web出願等の詳細はウェブサイトをご参照ください。



兄弟姉妹等の 入学に係る 学費減免制度

本学に兄弟姉妹が在籍している場合などに、入学金を減免します。

◎入学後の申請により返還をいたします。ただし、高等教育修学支援制度との併用はできません。

入学年度に、兄弟姉妹または
配偶者が昭和音楽大学もしくは
同短期大学部に在籍してい
る場合

入学金
全額免除

昭和音楽大学・同短期大学部・昭和音楽
芸術学院(東京声専音楽学校)を卒業・
修了した方のおよび兄弟姉妹または
配偶者が、本学に入学する場合

入学金
半額免除

昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部

応急貸与奨学金 無利子貸与

本学の学生が、家計の困窮度が高まったため学費の支弁等に支障を生じたときに、学業を継続し、卒業させることを目的として、学費の一部を貸与する制度です。在学中の成績、人物ともに特に優秀であると認めた場合、貸与した額の一部または全額の返済を免除することがあります。

昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部

外国人留学生奨学金 給付

外国人留学生のうち、経済的理由により学費の支弁が困難な者で、学業成績・人物ともに優秀な者に対し、授業料の一部を免除する制度です。



伸和コントロールズ株式会社



昭和音楽大学

共創芸術家育成制度

昭和音楽大学は、これまで積極的に地域貢献および各種文化活動の支援を行ってきた伸和コントロールズ(川崎市麻生区)と、2021年6月に「共創芸術家育成制度」を共同で制定しました。芸術家としてグローバルに活躍することをめざす学生を支援するべく、本学は伸和コントロールズからの助成を受け、学生が国際コンクール、マスタークラス等への参加にかかる諸費用の援助に活用します。

3年間の実績／4,841,127円(43件)助成しました。



2021年壮行会より、伸和コントロールズ・山本拓司代表取締役社長のご挨拶。



伸和コントロールズはコンチェルト定期演奏会にも協賛、2021年度より公演日を2日間に増やして開催しています。

教育ローン制度

学費提携ローン[変動金利]

本学では下記の金融機関等と教育資金としてのローンを提携しております。

提携ローン先 ※一般貸付同様、各金融機関による審査があります。

●三菱UFJ銀行 全国各本支店 ●(株)オリエントコーポレーション

◎オリコ学費サポートプランについては下記へお問い合わせください。
(学費サポートデスク ☎0120-517-325)

このローンは合格発表後に申し込みが可能となります。ただし、ローン申し込みから入金まで1~2週間程度の期間を要するため、学費等の入学手続時に必要な納入金の納入期限には間に合わないことがあります。したがって、一度入学手続時に納付金を入金していただく必要があります。

◎詳細については学生生活支援室へお問い合わせください。044-953-9835(平日8:45~17:15)

利子補給制度

本学の学費支払いのために本学の提携金融機関から「教育ローン」の借入を受けている場合は支払利息の一部を補給する制度です。上限は6万円となります。詳細は学生生活支援室へお問い合わせください。

(2023年度は32名が採用されました)

国の教育ローン[変動金利]

詳しくは日本政策金融公庫のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.jfc.go.jp/>



昭和音楽大学 昭和音楽大学短期大学部

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1 ©小田急線・新百合ヶ丘駅より徒歩4分
<https://www.tosei-showa-music.ac.jp>



2024年5月発行

特待生・奨学金

制度のご案内 2024

よりサポートが充実!

Point

特待生の割合 **20.7%**

[2024年度入試 入学手続者数(大学) 64名]

Point

採用後 **2年間継続**

Point

特待生と奨学金の**併用可**



特待生・奨学金
説明会

6/23(日)

7/7(日)

8/2(金)

8/3(土)

制度内容や特待生選抜について詳しく説明します。



SCHOLARSHIP

昭和音楽大学
昭和音楽大学短期大学部



“学びたい”気持ちを 応援する 経済的サポート！

特待生制度、奨学金制度により
学費の負担を軽減して
みなさんの熱意を力強く応援します。

対象

- 昭和音楽大学 (音楽学部)
 - 昭和音楽大学短期大学部 (音楽科)
- に在籍する学生

※昭和音楽大学大学院 (音楽研究科) は別途定めます。
詳細はウェブサイトなどでお知らせいたします。

学費

大学 (入学年度)

入学金	200,000円
授業料	1,420,000円
施設費	650,000円
合計	2,270,000円

[2回分納]

	入学手続時	9月
入学金	200,000円	
授業料	710,000円	710,000円
施設費	325,000円	325,000円
合計	1,235,000円	1,035,000円

短期大学部 (入学年度)

入学金	100,000円
授業料	1,390,000円
施設費	630,000円
合計	2,120,000円

[2回分納]

	入学手続時	9月
入学金	100,000円	
授業料	695,000円	695,000円
施設費	315,000円	315,000円
合計	1,110,000円	1,010,000円

◎納入方法は一括全納を原則としますが、事情により第1期 (入学手続時) / 2年次以降より4月・第2期 (9月) の2回に分納することもできます。

◎2年次以降は入学金を除きます。

◎その他の納入金として、学生会費、同侪会 (同窓会) 費があります。

◎国の「高等教育の修学支援新制度」採用者は、別途納入金額をご案内します。

昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部

特待生制度 給付

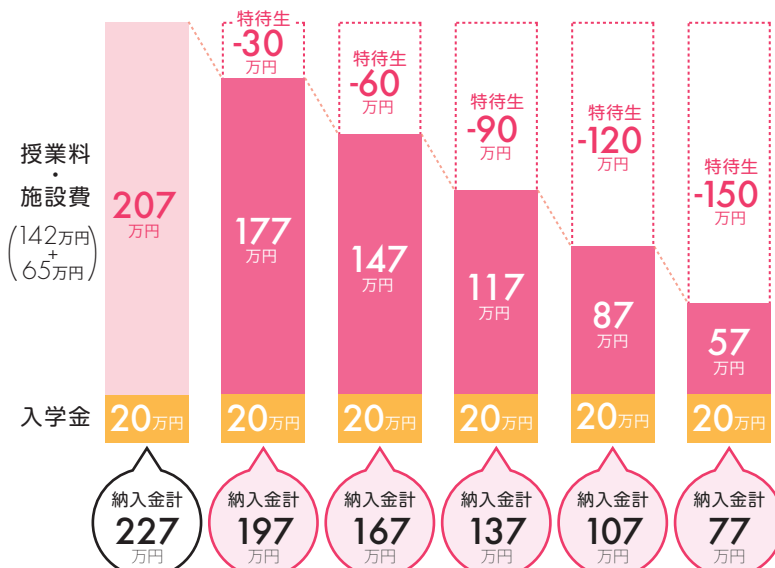
特に学業成績・人物ともに優秀な学生に対し、
学費を免除する制度です。
免除額は計5種類が設定されています。

学費の免除額 [計5種類]



- ◎採用後2年間継続して学費免除が受けられます。
(成績により適用額が変更または非継続となることもあります)
- ◎3年次に継続について審査を行います。(音楽学部の場合)
- ◎入学時に特待生でなくとも、2年次以降も特待生の選考機会があります。
- ◎最短修業年限を超える学生は対象外となります。

●入学年度の特待生納入金例 [大学]



志望するには

特待生選抜を受験

[2025年度特待生選抜日程]

第1回

試験 2024年
11月19日(火)・20日(水)

第2回

試験 2025年
2月1日(土)・2日(日)

◎一般選抜との同時出願が必要となります。

他の入試でも適用ができます。

▶ 学校推薦型選抜、一般選抜…特待生選抜と同時に
出願が可能です。

▶ 総合型選抜…入試の成績が特に優秀な方は
特待生として選考される場合があります。

Point

2024年度入試
(大学)では

64名*

特待生に
採用されました!

※入学手続者数

[特待生の割合]
20.7%

昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部

奨学金制度 給付

本学は、国が実施する
「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。

国が実施

高等教育の修学支援新制度

2020年4月からスタートした、国による支援制度です。2つの支援があり、世帯収入など、文部科学省が定める要件に合う学生が対象となります。

- 給付型奨学金 (原則返還が不要な奨学金)
- 授業料等の減免 (授業料と入学金の減免)

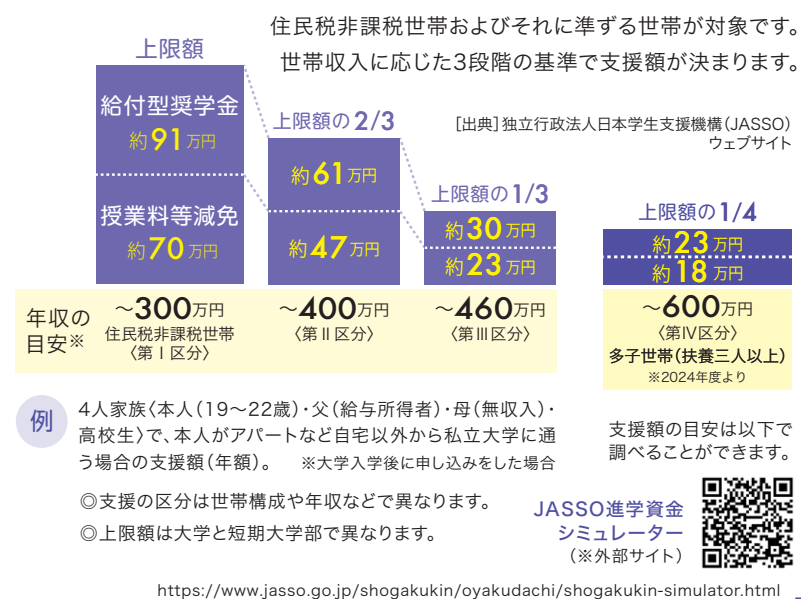
本学が実施

学費支援奨学金制度

本学が独自に設ける支援制度です。「高等教育の修学支援新制度」の要件に該当せず、経済的に就学が困難な学生を対象に、学費を減免します。

⑧ 国の制度と、本学の奨学金制度の併用はできません。

国の「高等教育の修学支援新制度」



本学独自の「学費支援奨学金制度」

「高等教育の修学支援新制度」の要件に該当せず、経済的に就学が困難な学生が対象です。

経済状況と入学試験の成績に応じて
学費の一部を減免します。

全ての入試で受付、
出願時に申請

- ◎ 減免金額は一律30万円です。
- ⑧ 申請状況により、予算の範囲内で調整を行うことがあります。
- ◎ 採用後2年間継続して学費を減免します。
(経済状況の好転や成績などにより非継続となることもあります)
- ◎ 収入要件 世帯収入850万円以下
- ◎ 最短修業年限を超える学生は対象外となります。
- ◎ 申請方法、必要書類は入学者選抜要項をご確認ください。

本学の特待生制度と
奨学金制度は
併用が可能です。

例

授業料・施設費	2,070,000円
特待生	-600,000円
学費支援奨学金	-300,000円
合計	1,170,000円

約43.5%減免に！

特待生 message



小石原 すずなさん
Suzuna Koishihara
[大学]
サウンドプロデュースコース 4年
(取材時)
神奈川県
神奈川総合高等学校出身

大切なのは
目の前の課題だけでなく、
その先のこと
それを具体的に考えながら
頑張りました

毎年の履修登録時には授業内容をよく読み、自分の専攻に活かそうな科目を選んでいましたので、興味を持って授業に臨み、頑張れたことが評価につながったように思います。特待生になること自体が目的なのではなく、これから何をしたいのか、どうなりたいたのかを具体的に考えることを大切に、行動していく意識が自身の支えにもなっています。

